

タブレットを活用したやり取りとプレゼンテーション (NEW CROWN English Series3 Project1 日本限定アイスクリームを提案しよう)

東広島市立河内中学校

①話・や

②個・表

②協・発

③タブ

③TV

【ここがポイント！】

① 「一人1台タブレット端末のフル活用」

帯学習で、自分の撮影した写真についてのクイズを考えて出題し、ペアでのやり取りをする。また、プレゼンテーションのための情報収集、辞書活用、スライド作成、練習中や本番での動画撮影など、授業中のあらゆる場面で生徒が端末を活用する。

② 「大型テレビを用いた導入と発表、共有」

ALT からのビデオレターを観せて生徒に相手意識をもたせる導入を行う。また、教師のモデルスピーチでのスライドや、生徒の作成中のスライドを画面に表示し、アイデアを全体で共有する。

【実践の目標】

日本限定アイスクリームを ALT に分かりやすく提案することができる。

【実際の場面】

1. 端末の写真を見せながらクイズを出題し、ペアでやり取りをする（帯学習）

自分が撮影した写真の一部分を見せ、” This is my friend who ~. Who is s/he?” というクイズを出題し、1分間ペアとやり取りを続けた。

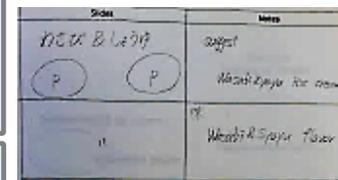
2. 前任の ALT からのビデオレターを観る

審査員を頼んでいる前任の ALT からの「日本や河内中の生徒のみんなが恋しいことや、日本に戻ったら何を食べたいか」という内容のビデオレターを観ることで、相手意識をもって課題に取り組みさせた。



3. スライドと発表用のメモを作成する

教師のモデルスピーチとメモを参考に、Google クラウドスライドに提示されたスライドを作成しながら発表のためのメモを作成した。Google スライドを使うことで、教師も生徒も、アイデアを共有し、進捗状況を確認することができた。



4. 発表の練習をする

グループ内で練習を動画で撮影し、アドバイスをし合った。その後動画を見返し、アドバイスも踏まえて改善をした。発表後に想定される質問や、その応答の仕方についても考えることで、さらに発表内容の順番や、まとまりよく伝えられるように工夫した。



5. 発表をする

スライドを提示しながら発表をした。メモをずっと見ている生徒もいれば、自分たちが作ったスライドをヒントに英文を言おうと努力する生徒もいた。発表後は生徒同士での質疑応答を行った。



6. 動画を見ながら振り返りをする

Google スライドをクラウドスライドで共有し、発表の際のスライド操作は教員の端末を使い、生徒用の端末は発表の様子を録画するために使用した。リハーサルと本番の動画を見比べながら、展開や構成、内容を振り返り、次回への課題を記述した。また、発表した英文や、その場で話したかった英文を書き起こした。

（生徒の振り返りより）
動画を観て感じたことは、あまり声が出ていなかったところ。そこを残りの少ない発表で改善していけるようにしたいです。練習のときはメモもとっていない状態で、うまく伝えられなかったけど、本番は言いたいことをまとまりよく伝えられたと思いました。

【成果と課題】

【成果】

○発表をする際に、いつも事前に作成した原稿を覚えて読むだけということになりがちであった。今回は、グループで何度も練習を重ね、撮影した動画を見返して確認し、アドバイスし合って発表内容を改善していくことで、メモとスライドを頼りに即興的に発表をすることができた。また、帯活動でのやり取りや発表後の質疑応答でも、生徒が積極的に英語を使う姿が見られた。

【課題】

○質疑応答の際、質問をする生徒が固定化したので、グループ内での練習の際にも質疑応答を行ったり、Google ジャムボード等を用いて質問内容の共有等を行ったりしておけば、より多くの生徒が質問をすることができたと考えられる。また、グループでの課題設定であったので、個人の評価につながる課題設定の工夫も必要であった。相手の発表を内容に注意して聞き、内容の構成の優れた点を、自分の発表にも取り入れることで質を向上させたい。